

SICE-FES 2025 Japan Node (Pre-Events)

「ランチョン・ネットワーキング・イベント with Thai Node」開催報告書

2025年9月4日

SICE-DIA 担当

大矢 純子（東芝）

掲題のイベントを以下の様に開催しましたので報告します。

1. イベント概要

- (1) 開催日時： 2025年8月29日(金) 12:00-13:25
- (2) 場所： 東京理科大学同窓会館 7階第2会議室
- (3) 主催： SICE-FES 2025 Japan Node
- (4) 担当者： SICE-DIA 鈴木高宏（麗澤大学、座長）、
SICE-DIA 村山大（東芝エネルギーシステムズ）、
SICE-DIA 清水佳子（電力中央研究所）、
SICE-DIA 大矢純子（東芝）
- (5) 参加者数： 日本側 約 20 名、タイ側 約 20 名

2. 特別講演：

“Breaking Barriers and Building Futures: My Journey as a Woman in Engineering”

Prof. Supavadee Aramvith（タイ・チュラロンコン大学）

講演者の女性エンジニアとしての歩みを振り返りながら、研究テーマ・研究の方向性を大きく変えたいいくつかのマイルストーンについてご紹介いただいた。明確な目標を設定すること、成果を認識すること、周囲の肯定的なサポートを得ること、そして挫折に直面してもレジリエンスを維持することが重要。また、昇進の機会を得るためには、自信、努力、そして効果的なコミュニケーションが不可欠。明確なゴールを設定し、それを達成することで成果を出してきたこと、いわば Achiever's Mindset が成功の鍵であると強調されていた。

講演後、活発な質疑応答があった。達成可能なゴール設定については、常に明確なビジョン・戦略を持つこと、との回答があった。日本で理工系の指導的階層に女性が極端に少ない現状の改善については、とにかく実績を積んでいくしかないとの回答であった。



3. ランチ・ミーティング

数人ずつのグループに分かれて、フリーディスカッションを行った。各社・各大学での現状・課題等を共有し、活発な議論が行われた。留学生や外国籍の社員・教員は明らかに増えたこと、理系に進む女子が少ないのは保護者や教員の無意識な言動の影響を受けている可能性があること、などの話題が挙がった。

一部のテーブルでは、タイ側の参加者をつないで、学業と私生活におけるレジリエンスの構築と課題の克服について議論が行われた。

以上